



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	佐々木憲介教授 略歴・主要研究業績
Citation	経済学研究, 71(1), 27-29
Issue Date	2021-06-03
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/81931
Type	other
File Information	30_ES_71(1)_027.pdf



編 集 後 記

佐々木憲介教授が2021年3月31日をもって任期満了により北海道大学を去られた。慣例によれば、「佐々木憲介教授記念号」を刊行し、巻頭に近影、略歴、研究業績目録および研究院長の献辞が掲載されるはずであるところ、佐々木教授から、記念号は辞退したいとの申し出があった。

図書・紀要委員会は佐々木教授のご意向を尊重し、記念号としないことに決めたが、本学部・研究科・研究院に32年間にわたって勤務され、経済思想史・経済学史の研究、教育に多大の業績を残された佐々木憲介教授についての記録を本誌に留めておきたいと考えた。

教授のご了解が得られたので、以下に略歴と研究業績を記す。

(図書・紀要委員会)

佐々木憲介教授 略歴

1955年5月 岩手県に生まれる

学 歴

1980年3月 東北大学経済学部経済学科 卒業

1982年3月 東北大学大学院経済学研究科 博士課程前期2年の課程修了

1985年3月 東北大学大学院経済学研究科 博士課程後期3年の課程単位修得退学

1987年4月 東北大学大学院経済学研究科 研究生(～1989年8月)

学 位

2001年10月 博士(経済学)・東北大学

職 歴

1985年4月 東北大学経済学部助手(～1987年3月)

1989年8月 北海道大学経済学部助教授

1999年8月 北海道大学経済学部教授

2010年4月 北海道大学大学院経済学研究科教授

2017年4月 北海道大学大学院経済学研究院教授

2019年4月 北海道大学大学院経済学研究院特任教授

2021年3月 北海道大学大学院経済学研究院退職

佐々木憲介教授 主要研究業績

著 書

1. 『経済学方法論の形成－理論と現実との相剋 1776-1875－』（北海道大学図書刊行会，2001 年 2 月）
2. 『イギリス歴史学派と経済学方法論争』（北海道大学出版会，2013 年 3 月）

編 著

3. 只腰親和・佐々木憲介編著『イギリス経済学における方法論の展開－演繹法と帰納法－』（昭和堂，2010 年 6 月）
4. 只腰親和・佐々木憲介編著『経済学方法論の多元性－歴史的観点から』（蒼天社出版，2018 年 7 月）

論 文

5. 「アダム・スミスにおける理論選択の規準問題－「天文学史」と『諸国民の富』－」（東北大学『研究年報・経済学』第 46 巻第 2 号，1984 年 7 月；時永淑編『古典派経済学研究（Ⅱ）』雄松堂，1985 年 7 月，字句上の修正を加えて再録）
6. 「N.W. シーニアにおける経済理論の諸前提－科学論的考察の端緒－」（東北大学『研究年報・経済学』第 48 巻第 4 号，1986 年 11 月）
7. 「J.E. ケアンズによる古典派経済学の方法論的定式化」（東北大学『研究年報・経済学』第 49 巻第 3 号，1987 年 9 月）
8. 「リカードウの“strong cases”」（北海道大学『経済学研究』第 41 巻第 3 号，1991 年 12 月）
9. 「宇野理論の科学論的考察」（馬渡尚憲編集代表『現代の資本主義－構造と動態』御茶の水書房，1992 年 3 月，補論第 2 節）
10. 「J.S. ミルの具体的演繹法（1）」（北海道大学『経済学研究』第 43 巻第 3 号，1993 年 12 月）
11. 「J.S. ミルの具体的演繹法（2）」（北海道大学『経済学研究』第 44 巻第 1 号，1994 年 6 月）
12. 「J.S. ミルにおける生産の法則」（北海道大学『経済学研究』第 44 巻第 4 号，1995 年 3 月）
13. 「J.S. ミルにおける分配の法則の成立根拠」（北海道大学『経済学研究』第 45 巻第 2 号，1995 年 6 月）
14. 「マルサスにおける帰納と演繹」（北海道大学『経済学研究』第 45 巻第 4 号，1996 年 3 月）
15. 「古典派経済学の基本前提－シーニアとケアンズ－」（北海道大学『経済学研究』第 47 巻第 2 号，1997 年 9 月）
16. 「批判的実在論の射程」（星野富一・奥山忠信・石橋貞男編『資本主義の原理－新しいパラダイムを求めて－』昭和堂，2000 年 5 月，第 3 章）
17. 「クリフ・レズリーの歴史的方法」（北海道大学『経済学研究』第 50 巻第 3 号，2000 年 12 月）
18. 「J.K. イングラムと歴史学派運動」（北海道大学『経済学研究』第 51 巻第 3 号，2001 年 12 月）
19. 「A. トインビーの歴史的方法と社会改良主義」（北海道大学『経済学研究』第 52 巻第 4 号，2003 年 3 月）
20. 「リチャード・ジョーンズと歴史学派」（東北大学・研究年報『経済学』第 65 巻第 3 号，2004 年 1 月）
21. 「W. カニンガムにおける理論と歴史」（北海道大学『経済学研究』第 55 巻第 3 号，2006 年 3 月）
22. 「W.J. アシュレーによる方法論争の総括」（北海道大学『経済学研究』第 58 巻第 1 号，2008 年 6 月）
23. 「イギリス経済学における演繹法と帰納法」（只腰・佐々木編 2010，序章）
24. 「歴史学派における帰納法の意味」（只腰・佐々木編 2010，第 6 章）

25. 「J.E.T. ロジャーズによる歴史の経済的解釈」(北海道大学『経済学研究』第 61 巻第 1・2 号, 2011 年 9 月)
26. 「理念型の系譜－リカードウ, ミル, メンガー, ヴェーバー－」(仙台経済学研究会編『経済学の座標軸－馬渡尚憲先生追悼論文集』社会評論社, 2016 年 4 月, 第 6 章)
27. 「経済理論における因果関係と相互依存関係－シュンペーターはどのように考えたのか」(只腰・佐々木編 2018, 第 1 章).

翻 訳

28. マーク・ブラウグ「マルクス, シュンペーターの企業者像」(『経済評論』1985 年 9 月)
29. スティーヴ・フリートウッド／佐々木憲介・西部忠・原伸子訳『ハイエクのポリティカル・エコノミー－秩序の社会経済学』(法政大学出版局, 2006 年 2 月)
30. ジョン・ステュアート・ミル／江口聡・佐々木憲介編訳『論理学体系 4』(京都大学学術出版会, 2020 年 1 月)

書 評

31. 杉原四郎・山下重一・小泉仰責任編集『J.S. ミル研究』御茶の水書房, 1992 年 (『経済学史学会年報』第 30 号, 1992 年 10 月)
32. Margaret Schabas, The Natural Origins of Economics, University of Chicago Press (『経済学史研究』第 49 巻第 1 号, 2007 年 6 月)
33. 西沢保著『マーシャルと歴史学派の経済思想』岩波書店, 2007 年 (『経済学史研究』第 50 巻第 2 号, 2009 年 1 月)
34. 安井俊一『J.S. ミルの社会主義論 体制論の倫理と科学』御茶の水書房, 2014 年 (『イギリス哲学研究』第 39 号, 2016 年 3 月)
35. ライオネル・ロビンズ (小峯敦・大槻忠史訳)『経済学の本質と意義』京都大学学術出版会, 2016 年 (『経済学史研究』第 58 巻第 2 号, 2017 年 1 月)
36. 長尾伸一『複数世界の思想史』名古屋大学出版会, 2015 年 (『経済学史研究』第 59 巻第 2 号)

その他

37. 教科書: 「J.S. ミル」(馬渡尚憲編『経済学の現在－マルクスの射程から』昭和堂, 1989 年 4 月, 第 1 章第 5 節)
38. 研究動向: 「古典派の経済人概念」(『経済学史学会年報』第 41 号, 2002 年 5 月)
39. 事典項目: 「経済学 (成立と方法)」(イギリス哲学会編『イギリス哲学・思想事典』研究社, 2007 年 10 月)
40. 事典項目: 「方法: 帰納的方法」(柳田芳伸・柳沢哲哉編『マルサス人口論事典』昭和堂, 2016 年 3 月)
41. 特集: 「J.S. ミルの経済法則概念: その現代的意義」(『経済セミナー』2018 年 10・11 月号, 2018 年 11 月)
42. 入門: 「経済学方法論と新自由主義」(岡本哲史・小池洋一編著, 『経済学の平行ワールド 入門・異端派総合アプローチ』新評論, 2019 年 11 月, 第 10 章)